

飯豊で10日「魔笛」公演

地元小中生もステージに

山形オペラ協会と山響



「魔笛」の名シーンを披露したプレコンサート
＝飯豊町・飯豊中

モーツァルトの歌劇「魔笛」が10日、飯豊町民総合センター「あくす」で上演される。山形オペラ協会（藤野祐一会長）と山形交響楽団による共演で、地元の小中学生もステージに登場する予定。11月30日には飯豊中（牛沢敏宏校長、167人）でプレコンサートが開かれた。

山形オペラ協会は山形大教授らが中心になって結成された山形音楽研究会が前身。現在は、音楽を指導する大学教授や高校教師ら25人ほどが所属する。

「魔笛」は、王子タミーノがパパゲーノと共に、夜の女王の娘パミーナを救出する物語。王子がさまざまの試練を乗り越えて愛する女性と結ばれるファンタジ

ーで、オペラファンに長く親しまれている。

置賜で唯一の会員土屋ミ子さん(57)＝長井市館町南＝は侍女役で出演。飯豊町で12年間、音楽教師として教壇に立った経験があり、音楽活動が盛んな土地柄であることから「飯豊公演」が実現した。「練習のたびに音楽的な発見がある。ストーリーが分からなくても楽しめるので、ぜひ来場してほしい」

飯豊中体育館で開かれた30日のプレコンサートでは全生徒の前に、夜の女王役の真下祐子さん(43)＝山形市＝やパパゲーノ役の鈴木集(つどい)さん(34)＝同＝らが伸びやかな歌声で名シーンを演じた。

10日の公演は県、県生涯学習文化財団、飯豊町が主催する。午後2時開演。一般1100円、高校生以下500円(当日はともに200円増し)。問い合わせは「あくす」0238(72)3111。